



「政策情報かわさき 26号」市民の目にCoaクラブ 副代表 松田一章による活動を紹介したコラムが掲載されました。

「政策情報かわさき」は、分権時代を担う職員の創造的意見、提案により誌面を構成し、多様な意見交流の場、市民と行政の交流の場を創出することを目的として発行しています。第26号では、特集テーマを「新たな時代にふさわしい自治体像を探る」とし、巻頭鼎談や関連する特集論稿などを掲載するとともに、創刊16年目を迎え、ビジュアル面に配慮した誌面リニューアル等も行いました。

問い合わせ先;総合企画局自治政策部
TEL 044-200-2017

技術と知識を生かした新しい活動モデル

Coaクラブ 副代表 **松田一章**



1 | はじめに

Coaクラブは「川崎をもっともっとおしゃれな町に」をコンセプトに平成20(2008)年8月にスタートした市民活動団体であり、主な活動内容は、広告デザイナーの育成支援と地域社会への広告物等の制作支

援である。

Coaクラブの活動モデルにはちょっとした工夫がある。そんなCoaクラブの活動に多くの評価、支援を寄せていただき、運営スタッフのほとんどが20～40代で本職をもった上で活動しているのにもかかわらず、1年半という短期間で急成長することができて

いる。Coaクラブの活動背景には、昨今変わりつつある広告業界（さらには現代社会）で迷走する「広告デザイナーの悩み」と、その広告業界の変化によってもたらされるメリットをうまく活用できていない「地域社会の現状」という2つの問題が根底にあるが、Coaクラブがその問題に対してどのようにアプローチしているかについて以降にまとめたい。

2 | Coaクラブの活動内容

Coaクラブの活動モデルは、若干複雑なため、説明の仕方を誤ると、単なる「安い広告代理店」と勘違いされやすい。そのため、もどかしくもあるが順にご説明させていただく。

(1) デザイナー育成支援 ～パソコンお絵かき教室～

Coaクラブでは月に3回、広告デザイナー、イラストレーターの育成支援のために「パソコンお絵かき教室」を開催している。教室では、Coaクラブ独自のカリキュラムにのっとり、デザイナーのスキルアップを指導している。



Coaクラブが教室を開始した経緯は、「クリエイティブな仕事に就きたいけれどハードルが高すぎる」と相談を多く受けたことからである。

確かに、クリエイティブな職業は

- ・就職訓練(学校・塾・職業訓練所など)の終了が必須
- ・道具や環境を揃えることが高価
- ・実践を積む場所がない

といったハードルが存在する。さらに、そういった夢

のある職業に就きたい人は多く、就職倍率は非常に高い。

広告デザイナーも例外ではなく、専門の学校に行くには2カ月のコースを終了するのに数十万～数百万は費用がかかる。また、制作のための専用のソフトウェアを購入するだけでも十数万円弱と高価であり、個人で学習するスタートには二の足を踏まざるを得ない。

もちろん、必要なスキルを身につけるためにお金が必要なことは当たり前といえば当たり前であるが、昨今、問題はより深刻化しており、高額なソフトを購入し、学校で学んだとしてもアシスタント(デザイナーの見習い)にすら就職できないという声を耳にするほどである。アシスタントに就くための面接でさえ、職務経歴書が必要だという。これは、広告業界の低迷により、業界全体が迷走しているのではないだろうかと考えている。Coaクラブでは本当にやる気のある広告デザイナーの卵たちの夢を叶えさせてあげたいという思いから、狭き門を通るために必要なポイントとして「実践力・実績」にあると考え、実践力・実績を得ることができるデザイナー育成支援「パソコンお絵かき教室」を開催している。

(2) 広告物等の制作による地域社会への側面支援

内容は変わって、Coaクラブでは、地域社会から広告物等の制作依頼を受けて広報支援を行っている。Coaクラブへの依頼は、市民活動団体・個人事業主・NPO法人・一般企業などさまざまである。また、依頼主の所在は、川崎市を中心とした首都圏がほとんどであるが、岐阜・奈良といった中部・西日本からの依頼もあることは驚くべき実績でもある。

勘違いされないことを前提としてご説明したいが、Coaクラブに広告物等の制作を依頼するメリットは「低額」だということが最も明解である。Coaクラブの制作料には、一般的に含まれているデザイン制作料の部分がほぼ無料であるため、一般の広告代理店に比べ5分の1から10分の1程度の見積となる。さらに、Coaクラブでは印刷部数を最低100部から依頼を受けているので、特にメリットを享受できるのは、市民活動団体や個人事業主といった小規模の団体等である。このように説明すると、冒頭で述べたように「安

い広告代理店」という誤解を与えてしまうが、広告物等の制作支援活動における私たちの“ミッション”は、これまで広告代理店に広告の制作を依頼できずに自分たちで制作するしかなかった層に対する支援であることを伝えたい。

従来、広告物等の制作依頼は、高額であり利用するにはある程度の費用を準備する必要があった。その理由の1つは印刷代そのものが高かったことにある。しかしながら、昨今の印刷技術の進歩は素晴らしく、以前と比べると低価格で印刷することが可能となっている。もちろん低価格にはデメリットがあるものの、これまで、家庭用プリンターで印刷していた方たちにとっては、カートリッジ代よりも安い価格で印刷することができるのが実情である。ただし、印刷業者に発注するためには、データ制作の観点からも広告制作技術のノウハウが必要であるため、個人で利用することはいまだに困難でもある。Coaクラブではその印刷データの作成サポート、さらには、デザインの制作も併せて行っており、ある市民活動団体の方からは「ありえないレベルだ」と言われたこともあり、地域社会に対して確実なメリットを提供していることを実感している。

また、地域の市民活動団体や個人事業主が、これまで輪転機（リソグラフ）で印刷していた二色刷りのチラシがフルカラーに変わることによって、広報効果が向上するとともに、広告宣伝費用を低額に抑えることで、主たる事業に力を入れられるようになるなど、より効率のよい広報活動が可能になれば、市民活動団体や個人事業主等による「町の活性化」は飛躍的に向上するものと考えられる。

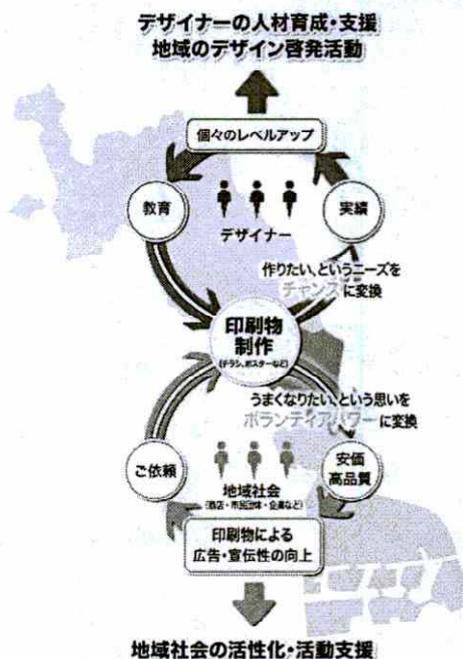
3 | CoaクラブのWin-Winモデル

～デザイナー育成支援と地域社会への側面支援による新しい活動モデル～

Coaクラブの2つの活動内容について前述させていただいたが、それぞれの活動は単独では成立しないことに気づかれたであろう。

“実践力・実績”を得ることのできるデザイナー育成支援は、学校や塾のようにいくらパソコン上で課題

活動風景 Coaクラブの活動モデル



を用いて練習していても身に付くものではなく、実際に広告物等の制作を行わなければ実現できない。また、データ制作のサポートやデザイン制作などの無料提供は“無料で制作することをメリットにできる”人材がいなければ実現できない。スキルアップをめざすデザイナーと低価格・高クオリティの広告物等が必要な市民活動団体や個人事業主などの需要をひきあわせるモデルこそがCoaクラブの新しいWin-Winの活動モデルである。

余談であるが、市民活動団体や個人事業主などから求められるクオリティやレベルは、これまで一般の方が制作していたチラシ等のクオリティよりも向上することが期待されるレベルであり、必ずしもプロレベルのクオリティまで必要とされていないと考えられる（Coaクラブの提供する広告物等は十分にプロレベルのクオリティとして通用すると自負している）。依頼側のみが必要以上にメリットを得られるということではなく、依頼側、制作側の双方が同程度のメリットを得られるようなWin-Winのモデルを構成することで、制作案件がこなされたときのトータルメリットは大きくなると考えている。

最後に、Coaクラブへの制作依頼は大手企業や公益法人からも多くあり、デザイナーにとって、名のある団体の制作を行うことは非常に価値のある実績とな



る。このことはデザイナーを応援する形となり、単に価値のある実績を得られるというだけではなく、彼らのモチベーションや成長速度の向上、さらには、それが地域貢献の向上につながっている。

4 | 今後の展望

Coaクラブの教室に通う会員が平成22（2010）年3月に大手小売業のデザイン事業部への就職に成功した。就職面接の際には、実際にCoaクラブで制作した印刷物の実績が評価されたと聞いている。この吉報は私たちにまた一つ気付かせてくれたことがある。

企業はこれまで広告代理店に依頼していた広告物の制作を部分的に自社で制作する転換を図っているということである。これは広告デザイナーをめざす人たちにとっては嬉々たるものであるが、企業は広告デザイナーを一から育成するだけの体力はなく、デザイナーには一人で広告制作を任せられる「即戦力のスキル」を求めていることが想像に難くない。これからの企業のデザイン部門の就職面接では、まさに“実践力・実績”が求められるようになるであろう。

今後もCoaクラブは、雇用する企業側と就職を希望する広告デザイナーの架け橋として、就職につながるような「デザイナー育成支援」を行うとともに、低価格で訴求力のある広告物等を必要としている市民活動団体などの「地域社会への側面支援」を通して、私たちに何ができるかを模索していきたい。